



4 課 視点動かさない手段-1 動詞の使い方、自動詞・他動詞の使い分け

文章としてのまとまりを持たせるために、書き手はふつう、いつも同じ視点から物事を述べます。
 視点を動かさないようにするために、いろいろな手段が使われます。

視点=物事を見ている位置

日本語では、視点を話者側に置くのが自然です。

A 話者を主語にする場合

◆動作主が話者で、物の移動を表す文や、感情・動作が他者に向かうことを表す文では、話者を主語にして述べるのが普通です。

例・わたしは高橋さんをしかつた・誘つた・案内した・尊敬しているなど

・わたしは高橋さんに～を送つた・渡した・投げた・頼んだなど

・わたしはあの人に会つたなど

◆動作主が他者で、物の移動を表す文や、感情・動作が話者に向かうことを表す文では、話者を主語にして受身の形で述べることが多いです。→第3部6課

例○わたしは高橋さんに留守番を頼まれた。

? 高橋さんはわたしに留守番を頼んだ。

◆二者の立場が対立することを表す動詞を使うとき、その一人が話者なら、話者を主語にして述べるのが普通です。

例○わたしは田中さんから歌を教わつた。

? 田中さんはわたしに歌を教えた。

○わたしたちのチームは相手チームに勝つた。

? 相手チームはわたしたちのチームに負けた。

○わたしは前に林さんに借りたお金を返した。

? わたしは前に林さんが貸したお金を返した。

B 自動詞・他動詞の使い分け

◆視点が動かなくても、注目するものが変われば自動詞・他動詞の使い分けが必要です。

注目点	動詞の種類	例
変化を起こす動作に注目する (だれの動作かを意識する)	他動詞	(わたしが) 電気を消す (わたしが) タクシーを止める
物の動き・変化に注目する (だれの動作かを意識しない)	自動詞	電気が消える タクシーが止まる

◆自動詞・他動詞の発展的使い方には次のようなものがあります。

動詞の種類	意味	例
他動詞	失敗・責任	財布を落とした。／かぎをなくした。
	慣用的表現	風邪を引いた。／年をとつた。
自動詞	可能	このかばんにはB4サイズの書類が入る。 ドアがなかなか開かない。
	動作の結果	ブラウスの汚れを落とそうとしたが、結局落ちなかった。

◆継起・付帯状態を表す「～て」の前後は、ふつう主語が同じです。自動詞・他動詞のどちらで述べるかに気をつけます。原因・理由を表す場合は、主語が違っていてもかまいません。

例○その子は、ぼかんと口を開けて、先生の話聞いた。

(その子が口を開けた+その子が聞いた)

× その子は、ぼかんと口が開いて、先生の話聞いた。(口が開いた+その子が聞いた)

○ その子は、ぼかんと口が開いていて、バカみたいに見えた。

(口が開いていた+その子が見えた)

→原因・理由を表す「～て」

練習1 どちらが適当な方を選びなさい。

1 この箱は小さいから、これ以上(① a 本を入れない b 本が入らない)。残った本は本棚に(② a 並べたほうがいい b 並んだほうがいい)。

2 帰ろうとしたとき(① a 山川さんが小さい箱を渡した b 山川さんから小さい箱を渡された)が、その意味がわたしにはわからなかったので、すぐに(② a 返した b 返された)。



- 3 わたしは産地直送の野菜や果物が好きだ。インターネットで(①a 注文した b 注文を受けた)ものが、次の日にはうちに(②a 届ける b 届く)。うれしい時間だ。毎回すぐに産地の人に(③a 電話をかけて b 電話がかかって)、「来週もよろしくね。」と言う。こういうつきあいが楽しいのだ。
- 4 昨日、新しくできた図書館へ行った。本を5冊(①a 借りた b 貸した)。「本を(②a お借りになる b お貸しする)方はカウンターへお申し出ください。」と書いてあった。「雑誌もいいですか。」と(③a 聞いたら b 聞かれたら)、「すみません。雑誌は(④a お借りできない b お貸しできない)んです。」と言われた。
- 5 昔、(①a 母が教えた b 母から教わった)この料理法はとても役に立つ。「おいしく作るいい方法があるから(②a 教えるね b 教わるね)。覚えておくといいよ。」と言って、作り方を書いてくれた。この方法を、わたしはいつか自分の子供にも(③a 教えたい b 教わりたい)。
- 6 夫はテレビのプロ野球番組が好きで、巨人の応援をしている。特に阪神には絶対に(①a 負けてほしくない b 負けてほしい)ようで、もし(②a 勝ったら b 負けたら)機嫌が悪くなる。今日は(③a 勝った b 負けた)から良かったが、「あした(④a 勝ったら b 負けたら)もうテレビは見ない。」などと言っている。
(注) 巨人・阪神：プロ野球のチーム名
- 7 昔、かくれんぼという遊びをよくしたものだ。木の陰や家の後ろなどに(①a 隠れて b 隠して)いる子を鬼が(②a 見つかる b 見つける)遊びである。わたしは体が大きかったので、どんなに(③a 隠れた b 隠した)つもりでも、すぐに(④a 見つかって b 見つけて)しまった。また、宝探しという遊びもよくした。母が(⑤a 隠れた b 隠した)宝物を一番たくさん(⑥a 見つかった b 見つけた)子が勝ち。わたしは母の(⑦a 隠れ方 b 隠し方)をよく知っていたので、いつも一番だった。
- 8 先日、何度か川田さんのうちに電話をかけたが、話し中でなかなか(①a つながれなかった b つながらなかった)。川田さんのお子さんが(②a 試験を受けた b 試験に受かった)と聞いたので、一言お祝いを言おうと思ったのだ。後で聞いたら、その日は朝から電話が多く、ずっと(③a 電話を鳴らしていた b 電話が鳴っていた)のだそうだ。

【まとめ】 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、 から の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

そんな私も二年間、日記を書いていた。インターネットを使ったメールマガジンというのをやることになり、そこで「今週の私」みたいな一週間分の のだ。今はそのメルマガがなくなってしまったが、日記は個人的につけている。

メールマガジンって、 あまり知らなかったんだけど、とてもおもしろいシステム。基本的には「たくさんの人にいっぺんに送る電子メール」と考えてくれればよい。ホームページだったら、利用者が「あのページ見てみようかな」と自分でその気になってURL(ホームページのアドレス)を入力したりして見なければならぬけれど、メールマガジンは のを読むだけだから、気軽だよ。

それに、なんだか自分だけに送られてきたような気になってちょっとうれしい。私も、自分でメールマガジンの発行を始めてからほかの人のものもいくつか取り始めたんだけど、届くたびに「お、 」って感じになる。もちろん、いろいろな人がいろいろな内容や形式のメールマガジンを書いているんだけど、私は日記を中心にしたエッセイを毎週一回、 。正直言うと、「何を書こうか？」と毎回、考えることができないので、「よしっ、日記だったら書くことがなくて困るってことはないだろう」と思ったわけなんだけど。

(香山リカ『10代のうちに考えておくこと』岩波ジュニア新書による)

- | | |
|---|----------------|
| <input type="text" value="1"/> 1 日記が載った | 2 日記が載っていた |
| 3 日記が載せてあった | 4 日記を載せていた |
| <input type="text" value="2"/> 1 自分で始めるまで | 2 自分から始まるまで |
| 3 自分で始めたのに | 4 自分から始まったのに |
| <input type="text" value="3"/> 1 向こうへ送る | 2 向こうから送られてくる |
| 3 あちこちで受け取る | 4 あちこちで受け取られる |
| <input type="text" value="4"/> 1 来る来る | 2 来た来た |
| 3 行く行く | 4 行った行った |
| <input type="text" value="5"/> 1 届くことになっていた | 2 届けられることにしていた |
| 3 送ることになっていた | 4 送られることになっていた |